

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	羊水過少を伴う一児発育不全と供血児の膀胱が視認できる双胎間輸血症候群 stage3 における病態に対し吻合血管の及ぼす影響
研究責任者	聖隷浜松病院 周産期科 今野 寛子
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2023 年 3 月 31 日
対象者	2016 年 1 月から 2021 年 12 月までの間に聖隷浜松病院周産期科で妊娠管理を行った一絨毛膜二羊膜性双胎の患者のうち、双胎間輸血症候群もしくは一児発育不全 type3 の患者さん
研究の意義・目的	一絨毛膜二羊膜性双胎の胎盤において、胎盤上の吻合血管を介した両児の血流移動の不均衡により双胎間輸血症候群が起こります。一方、双胎間輸血症候群と同様に一絨毛膜二羊膜性双胎に特有の合併症である一児発育不全は、吻合血管の存在よりも両児の胎盤の面積差によるものと考えられています。しかし、一児発育不全の中でも一児に羊水過少を伴う場合には動脈動脈吻合の影響を受けた病態であるとも言われています。また、双胎間輸血症候群の Quintero 分類 stage3 においても、供血児の膀胱が視認できる場合には、同様に動脈動脈吻合が影響すると考えられています。本研究では、類似した病態である羊水過少を伴う一児発育不全と供血児の膀胱が視認できる双胎間輸血症候群 stage3 において、それぞれの吻合血管の種類や大きさを比較検討し、その病態の発症にどのように影響しているかを考察します。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目について調査を行います。 年齢、妊娠回数、出産回数、双胎間輸血症候群もしくは一児発育不全の発症週数、羊水量、胎児治療の有無、治療の週数、分娩週数、分娩方法、出生時体重、身長、NICU入院の有無、児の合併症、吻合血管の種類・本数。 本研究に係るデータの取扱いに当たっては、研究対象者の個人情報保護のため、ヘルシンキ宣言、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」及びその他法令を遵守します。研究の結果を公表する際には、研究対象者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、本研究で得た個人情報を使用しません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 周産期科 今野寛子 TEL:053-474-2222(代表) 産科外来 9:00~17:00 平日